

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 KID ACADEMY+ROKKO EDUCATION

公表日 2025年12月10日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		限られたスペースを安心・安全に使えるように工夫をしています。	より快適に過ごしていただけるよう、努力していきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		基準人員を満たしています。	基準人員を満たし、より質の高い支援ができるような配置を心がけます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		支援室や静養室などお子様の特性やその日の様子に合わせて使えるよう、配慮をしています。	その日のお子様の様子を注意深く確認しながら配慮をしていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		必要に応じて補強・補修をしながら快適に過ごせる環境づくりを目指しています。	より快適に過ごしていただけるよう、努力していきます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		安全を確保し、状況に応じて一人で時間を過ごす環境を作っています。	より安全な空間づくりをしていきます。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		定期的にミーティングを開催しております。	より質の高い支援につながるようなミーティングを開催していきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		定期的に開催しているミーティング内で保護者のニーズの確認とその改善について話し合う場を設けています。	保護者様との日々の関わりを増やし、より質の高い支援に繋げていきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		常に保護者・利用者の立場に立ち、意見交換をしています。その後、必要に応じて業務の改善につなげております。	引き続き職員の意見を把握する機会を設けていきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	現在未実施です。	今後検討してまいります。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		必要に応じた研修などに対しての支援を会社が行っております。	引き続き、質の高い支援につながる研修等の機会の確保に努めます。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		事業所玄関に支援プログラムを公表しております。	よりわかりやすくお伝えできるようにしていきます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		日々のアセスメントや保護者の皆様からの聞き取り内容から、計画書を作成したうえで支援をしています。	引き続き適切なアセスメントを行い、計画書に盛り込んでいきます。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		職員全員がお子様の状況を理解し、共通認識のもとで支援をしています。	お子様の最善の利益を考慮した検討を心がけます。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		職員全員がお子様の状況を理解し、計画書に沿った内容で支援をしています。	引き続き、質の高い支援につながるよう、計画書共有の機会の確保に努めます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		日々の支援等の記録をベースに職員間で話し合いを行っている。	引き続き、質の高い支援につながる観察等を行っていきます。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		お子様一人一人に合わせた目標を設定し、個別支援計画書内においても具体的な目標を記載することで日々の支援がより具体的に行えるようにしています。	さらに具体的な目標の設定と日々の支援の向上に努めます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		活動内容については、職員間で意見交換を行うようにしています。	職員間で意見交換を行う時間を確保し、活動内容をチームで立案していきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		お子様が楽しく活動できるよう、固定化しない内容を立案しています。	日々の支援を振り返り、固定化しないよう努力してまいります。

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		保護者様に確認をし、また事業所内での様子を踏まえ必要と思われる支援内容をご提案させていただきますいております。	お子様の状況、ご家庭の状況などを踏まえ、個別あるいは集団での対応をさせていただきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援前にはその日の支援についての共有を行っています。	支援前は職員間で話し合い、最善の対応ができるよう努力してまいります。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援終了後についても必ずその日に合ったことなどの共有をしております。	支援後も職員間で話し合い、最善の対応ができるよう努力してまいります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		日々の支援に関しての記録をとり、保管をしております。	今後もより深い内容での記録を残す努力をしてまいります。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的なモニタリングを開催し、必要に応じて見直しを行っています。	今後も定期的にモニタリングを開催し、必要に応じて見直しを行います。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		会議へはお子様の状況を理解した者が参画しております。	継続してまいります。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		今後も地域との連携に力を入れてまいります。	今後もお子様の状況を把握し、地域との連携していきます。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		各機関との連携を図っております。	継続してまいります。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		各機関との連携を図っております。	継続してまいります。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)		○	該当の利用児がいないため、現状センターとの連携はありません。	該当利用児がいる場合は連携をさせていただきます。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○	現在、園などとの交流はありませんが、公園などに外出した際は、一緒に遊ぶ等の交流をしております。	継続してまいります。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		日々の変化など、小さなことでも共有をする体制があります。	継続してまいります。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		個別面談や保護者会で情報提供などを行っています。	保護者会を定期的に開催し、学びの場・情報共有の場とできればと考えております。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時にご説明をさせていただきます。	引き続き丁寧な説明を心がけます。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		保護者様と相談をしながら、またお子様本人の意思を確認しながら進めております。	継続してまいります。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		定期的に面談を行い、内容については更新をし、同意をいただいた計画をもとに支援をしております。	継続してまいります。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		個別面談などを通して、日々の子育て相談に応じ、適切な助言と支援を行っています。	継続してまいります。

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		不定期にはなっておりますが、保護者会を開催し、保護者同士の交流もしていただいております。	今後は定期的に保護者会の実施ができればと思っております。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		今のところ大きな苦情はありませんが、日々のご希望などは職員間で周知し、必要に応じてお子様の支援に生かしております。	継続してまいります。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		今のところ、HP等の発信は事業所としてはありませんが、今後検討していきます。	発信ツールを検討していきます。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		鍵付きの書庫で保管をしております。	継続してまいります。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		LINEや電話など保護者様が使いやすいツールを使い、意思の疎通をしております。	継続してまいります。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		地域のイベントに参加する等、地域交流をしながら事業所の運営をさせていただいております。	継続してまいります。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアルの作成をし、玄関にファイリングしております。	継続してまいります。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPの策定・定期的な訓練は実施しております。	BCPの更新を適宜行い、安全にお子様が過ごせる環境づくりに尽力します。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		面談時にお子様の健康状態などをお聞きし、確認をしております。	継続してまいります。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		アレルギーについても面談時にお聞きし、必要に応じて医師の指示書のご提出をお願いし、事業所内で対応しております。	継続してまいります。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画の作成、訓練の実施をしております。	もしものことを常に考え安全計画の更新をしています。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		安全計画など一式を玄関にファイリングしております。	よりわかりやすくご覧いただけるよう努力いたします。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットは都度事業所内で共有し、対策を講じております。	継続してまいります。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		定期的に研修を行っております。	継続してまいります。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		必要と判断するお子様は現状いませんが、いる場合は保護者に同意書のご提出をお願いし、計画書にも記載いたします。	必要と判断した場合は組織的に決定し、お子様・保護者様に説明、ご了解を得たうえで計画書に記載いたします。